

(1) RADIUS認証サーバから受信するattribute

NS-2482-30(V3.1) がRADIUS認証サーバから受信する認証成功パケットのattribute解釈方法を表1に示します。
 なお、表1に示すattribute以外のattributeを受信した場合は、NS-2482-30で廃棄します。

表1 RADIUS認証サーバから受信するAccessAcceptの解釈方法

attribute名	番号	Attribute定義	可能な設定値/設定方法(*1)
Service-Type	6	ユーザが要求している サービスタイプ	2:Framed-User 通常の着信ユーザの場合に指定します。 4:Callback-Framed-User PPPのCBCPでCallbackするユーザの場合に指定します。
Framed-Protocol	7	FramedAccessに使用されているFraming	1:PPP PPPを指定します。(*2)
Framed-IP-Address	8	ユーザに設定される IPアドレス	PPPのIPCPで行うアドレスネゴシエーションの動作を設定します。 255.255.255.255: 相手の通知してくるIPアドレスを受け入れる。 255.255.255.254: NS-2482-30のIPプールのアドレスを相手のIPアドレスとして使用する。 上記以外: 設定されたアドレスを相手のIPアドレスとして使用する。 この情報をもとにNS-2482-30のusersファイルのinterfaceキーワードの設定を自動生成します。
Filter-Id	11	ユーザに対する filter名	Framed-IP-Addressの内容をもとに自動生成されるNS-2482-30 usersファイルのinterfaceキーワードに対するfilter名を設定します。filter名の後ろに「.」で区切り、括弧子を指定できます。 filter名はNS-2482-30のipfiltersファイルに?ン定されている必要がありません。 括弧子filterの場合(例: filA.filter) 「filter filA」と解釈されます。 括弧子includeの場合(例: filA.include) 「access include filA」と解釈されます?B 括弧子excludeの場合(例: filA.exclude) 「access exclude filA」と解釈されます?B(*3)
Callback-Number	19	コールバックする電話番号	コールバックする電話番号を指定したい場合に、電話番号を設定します。 区切り記号として、「-」を使用します。
Framed-Route	22	ユーザに設定される ルーティング情報	以下の書式で設定します。 destination/mask gateway metric [filter名] destination: 宛先アドレスを設定 mask: destinationのマスクを10進数で設定 gateway: 宛先に到達するために経由するルータのIPアドレスを設定 metric: このルートのメトリックを10進数で設定 filter: このルートに対するフィルタを設定する場合には、filter名を設定(filter名は本装置のipfiltersファイルに設定されている必要がありこの情報をもとに、NS-2482-30のusersファイルのdestinationキーワードの設定を自動生成します。(*4)
Session-Timeout	27	sessionの終了までに ユーザに提供される サービスの最大時間	5~10000(秒)が有効、0の場合は自動切断しません。
Idle-Timeout	28	sessionの終了までに ユーザに許される 最大連続idle時間	5~100000(秒)が有効、0の場合は自動切断しません。
Port-Limit	62	ユーザが使用できる 最大リンク数	MPプロトコルで動作時に、使用できる最大リンク数を設定します。 設定範囲: 1~8
Assign-IP-Pool	218	ユーザが使用する IPプール番号	ippoolファイルに登録しているプール番号(設定範囲: 1~16)を指定します。この値が0のippoolファイルに登録されているすべてのIPプールから空いているIPアドレスを検索して、空いているIPアドレスを割り当てることができます。(*5)

(*1) RADIUS認証サーバに設定する場合、設定値(例えばFramed-Userなどの書式、設定値)は、ご使用に

なるRADIUS認証サーバで異なる場合がありますので、使用されるRADIUS認証サーバの設定ファイル(例えば usersファイル、dictionaryファイルなど)を確認してください。

(*2)MPで接続する場合にも、PPPを指定します。その場合の最大リンク数をPort-Limitで設定します。

(*3)Framed-IP-Address、Filter-Idの設定をもとに、NS-2482-30のusersファイルの「%user」に設定するinterface キーワードの設定をNS-2482-30内部で自動生成します。

(*4)Framed-Routeの設定をもとに、NS-2482-30のusersファイルを「%user」に設定するdestinationキーワードの設定をNS-2482-30内部で自動生成します。

(*5)RADIUS認証サーバによってはこのattributeが定義されていない場合があります。その場合には、RADIUS認証サーバのdictionaryに、Assign-IP-Poolを番号「218」で登録してください。

(2) RADIUSアカウントサーバに送信するattribute

NS-2482-30(V3.1)がRADIUSアカウントサーバに送信するattributeを表2に示します。

表2 RADIUSアカウントサーバに送信するattribute

attribute名	番号	AccountStartに含まれる attribute	AccountStopに含まれる attribute
User-Name	1	○	○
NAS-IP-Address	4	○	○
NAS-Port	5	○	○
Service-Type	6	○	○
Framed-Protocol	7	○	○
Framed-IP-Address	8	○	○
Callback-Number(*1)	19	○	○
Session-Timeout(*2)	27		○
Idle-Timeout(*2)	28		○
Calling-Station-Id(*3)	31	○	○
Acct-Status-Type	40	○	○
Acct-Delay-Time	41	○	○
Acct-Input-Octets	42		○
Acct-Output-Octets	43		○
Acct-Session-Id	44	○	○
Acct-Authentic	45	○	○
Acct-Session-Time	46		○
Acct-Input-Pakets	47		○
Acct-Output-Pakets	48		○
Acct-Terminate-Cause	49		○
Acct-Multi-Session-Id(*4)	50	○	○
Acct-Link-Count(*4)	51	○	○
NAS-Port-Type	61	○	○
Connect-Info(*5)	77	○	○

(*1)コールバックの場合のみ、このattributeを送信します。

(*2)機能が指定された場合のみ、このattributeを送信します。

(*3)発信者の電話番号が通知されてきた場合のみ、このattributeを送信します。

(*4)MPで接続された場合のみ、このattributeを送信します。

(*5)RADIUSアカウントサーバによっては、Connect-Infoが定義されていない場合があります。その場合にはdictionaryファイルに、Connect-Infoを「77」で定義してください。またLivingston2.0.1のdictionaryには、Connect-Infoが「65」で定義されています。この場合には、この値を「77」に変更してRADIUSサーバを再起動してください。

(3) RADIUS認証サーバに送信するattribute

NS-2482-30(V3.1)がRADIUS認証サーバに送信する認証要求(AccessRequestパケット)のAttributeを表3に示します。

表3 RADIUS認証サーバに送信するAttribute

Attribute名	番号	内容
User-Name	1	ユーザ名
User-Password(*1)	2	PAP認証時のパスワード
CHAP-Password(*1)	3	CHAP認証時のパスワード
NAS-IP-Address	4	ユーザの認証を要求している本装置のIPアドレス 本装置のホスト名に対応するIPアドレスが使用されます。
NAS-Port(*2)	5	ユーザを認証している本装置の物理ポート番号 wwcc ww:WANポート番号 BRI:1 - 8,11 - 18 PRI:10 cc:Channel番号 BRI:01 - 02 PRI:01 - 23
Called-Station-Id(*2),(*)3	30	通知されてきた着信の電話番号
Calling-Station-Id(*4)	31	通知されてきた発信者の電話番号
NAS-Port-Type(*2)	61	ユーザを認証している回線サービスのタイプ 0:Async 2:ISDN-Sync 6:PIAFS

(*1) PAP認証の場合はUser-Passwordが、CHAP認証の場合はCHAP-Password が送信されます。
(*2) NAS-Port,NAS-Port-Type,Called-Station-Idは、NS-2482-30バージョンV3.1で追加されたAttributeです。
V3.1以前のバージョンでは送信されません。
(*3)着信の電話番号が通知されてきた場合のみ、このattributeを送信します。
(*4)発信者の電話番号が通知されてきた場合のみ、このattributeを送信します。
以上